



録画映像



問 児童送迎バス安全装置設置事業について問う

静岡県牧之原市の認定こども園の園児送迎バスで3歳女児が置き去りにされ、熱中症で亡くなる悲惨な事故があり、その後も全国で同様の人為的ミスが繰り返されている。

今回の補助金で、津市内の保育園や認定こども園の全ての児童送迎バスに安全装置が設置されるのか。また、バスを新たに購入する等した場合も支援できるのか。

答 できる限り早期に児童送迎バスに安全装置を設置していきたい

令和5年4月1日から保育所、認定こども園が児童送迎バスを運行する場合は、安全装置の設置が義務付けられた。移行期間である令和6年3月31日までにできる限り早期に市内の全ての児童送迎バス（公立保育所2台、公立認定こども園5台、私立認定こども園10台）に安全装置を設置していきたい。児童送迎バスへの安全装置の設置に係る補助については、令和5年度末までの時限的措置として、国の保育対策総合支援事業費補助金に位置付けられており、令和5年度中に新たに購入し、児童送迎バスとして使用する場合についても、補助の対象となる。

その他の質疑・質問

- 保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業について
- 就労開始支援金を立ち上げた背景は
- 桑名市の私立認定こども園で起きた園児虐待事件について
- 津市で同様の事件が起きる懸念はないか
- 津市出会い応援事業について

など

▶ 安全装置を設置する児童送迎バス



録画映像



問 保育所等の利用申し込みの状況は

今年4月に、保育所等の利用ができないいわゆる待機児童が、合併後初めて57人発生し、大変困っておられる保護者がいる。

そこで、令和5年度の保育所等の申し込み状況や利用状況はどのようになっているのかについて問う。

また、利用決定に至る点数の具体的な計算の仕方と待機児童の発生原因は。

答 利用申込者は1,509人で、令和4年度よりも130人増加した

利用申込者は1,509人で、令和4年度よりも130人増加した。そのうち辞退者を除く入所児童数は1,223人で、利用できなかった232人のうち国の定める待機児童は1歳児で57人であった。利用決定の点数計算は、保護者の就労状況等による基本点数と世帯の状況による調整指数の合計点を基に行い、点数の高い児童から希望する保育所等の空き状況に合わせて利用を決定している。待機児童が発生したのは、定員いっぱいまでこどもを受け入れられない保育所等があるなど、保育士の確保ができないことが大きな原因だと考えている。今後も市内の保育所等の人材確保に努めていく。

その他の質疑・質問

- 市長が職員に求めるものは
- 出会い応援事業の事業成果と今後について
- 情報格差を解消する公民館講座について
- マイナンバーカードの取得と利用について
- 久居総合福祉会館の老朽化について
- 久居駅前駐輪場のハトのふん被害について

▶ 職員によるハトの忌避剤の散布及び追い払い作業の様子（久居駅東口公共自転車等駐車場）

